

# 例示

## 株式会社 A 相続・事業承継計画表

基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>BからEへの親族内承継</li> <li>Bは60歳時会長へ、社長は実弟のCへバトンタッチ、実弟は65歳で社長退任、Eが33歳で代表権付与同時専務昇格、Bは67歳で相談役、Eは入社10年目の38歳で社長就任</li> <li>10年間のアドバイザー役を顧問税理士と代理店のF社長に依頼・10年間(2028年まで)で相続事業承継の諸対策を実行する。</li> </ul>																				
項目		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	
事業の計画	売上高	10億円										15億円						20億円				
	経常利益	5千万円										8千万円						1億円				
	従業員数	100										120人						150人				
会社	自社株評価	¥795,630	¥820,877	¥873,610		90万						120万						150万				
	事業承継(株式)問題の対策 定款・約款・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 特例事業承継計画書の提出</li> <li>2. 名義株主と話し合い開始</li> <li>3. 少数株主との買い取り交渉</li> <li>4. 退任役員との譲渡交渉</li> <li>5. 民法特例の検討</li> <li>6. 売渡し請求権の定款変更</li> <li>7. 役員退職金規程の作成・整備</li> <li>8. 従業員持株会対策</li> <li>9. 特別支配株主対策</li> <li>10. 自社株引下げ対策</li> <li>11. 法人契約の損金対策検討</li> <li>12. 種類株式の検討</li> <li>13. 属人的株式の検討</li> <li>14. 民事信託の検証</li> <li>15. 後継者への株贈与と準共有</li> <li>16. 売主追加請求権の定款見直し</li> <li>17. 一般社団法人の活用検討</li> <li>18. 従業員退職金財源の検証</li> <li>19. 公正証書遺言作成</li> <li>20. 成年後見制度の検証</li> <li>21. 建物所有型法人の検討</li> <li>22. 国外転出時課税への対応</li> <li>23. 特定同族会社事業用宅地の評価減</li> <li>24. 株式譲渡承認請求への対応</li> <li>25. M&amp;Aの検討</li> <li>26. 従業員退職金財源・規程の整備</li> </ul> <p>等の実施年度を計画表に明記する</p>																				
現経営者	A様	76歳(祖父)	77歳	78歳	79歳	80歳	81歳	82歳	83歳	84歳	85歳	86歳	87歳	88歳	89歳	90歳	91歳	92歳	93歳	94歳	95歳	
	B様	51歳(父)	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳	69歳	70歳	
	C様	49歳(叔父)	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳	
	D様	46歳(母)	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	
	F様	22歳(妹)	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	
	関係者その他の理解				家族会議			特例事業承継計画書提出	社内へ計画発表				取引先金融機関に紹介						役員刷新			
	役職	社長											会長(社長はCの弟へ)						相談役			引退
代取持株(%)	70%	70%	65%	65%	60%	60%	55%	55%	50%	50%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
相続問題への対策その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 配偶者の税額軽減の特例</li> <li>2. 相続税額と基礎控除</li> <li>3. 生前贈与と相続時精算課税</li> <li>4. 遺留分と特別受益</li> <li>5. 連帯納付義務(担税力)</li> <li>6. 自筆(公正)証書遺言</li> <li>7. 代償分割と交付金財源</li> <li>8. 法定相続人と法定相続分</li> <li>9. 贈与税の配偶者控除</li> <li>10. 小規模宅地等の評価減(事業用・居住用)</li> <li>11. 認知症リスク</li> <li>12. 教育資金と結婚・子育て資金贈与</li> <li>13. 相続人以外の親族の寄与分</li> <li>14. 個人の生命保険の活用度</li> <li>15. 2次相続対策</li> <li>16. 連帯保証人と保証債務</li> <li>17. 遺留分侵害額と金銭支払い対応</li> <li>18. 配偶者の居住権</li> <li>19. 預貯金の分割対象と払戻し制度</li> <li>20. 養子縁組・離縁</li> <li>21. 非課税枠の活用度</li> </ul>																					
				役員給与の高騰リスク	死亡退職金の受取人指定														B様 67歳退職金			相談役 70歳勇退
後継者	後継者 E様	22歳(長男)	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	
	後継者教育	学生	銀行就職					当社入社								専務		社長				
	持株(%)	0%	0%	5%	5%	10%	10%	15%	15%	20%	20%	20%	70%									
補足	<p>株価を算出して、暦年の贈与による株数を決定し移行</p> <p style="text-align: right;">納税猶予</p>																					
補足		<p>・個人契約・法人契約の活用度合……既契約の内容点検 = 現経営者と後継者の体況確認 ⇒ 相続・事業承継に資する生命保険加入の実現</p>																				

# 株式会社

# 相続・事業承継計画表

基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>																				
項目		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年	
事業の計画	売上高																					
	経常利益																					
	従業員数																					
会社	自社株評価																					
	事業承継(株式)問題の対策 定款・約款・その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.特例事業承継計画書の提出</li> <li>2.名義株主と話し合い開始</li> <li>3.少数株主との買い取り交渉</li> <li>4.退任役員との譲渡交渉</li> <li>5.民法特例の検討</li> <li>6.売渡し請求権の定款変更</li> <li>7.役員退職金規程の作成・整備</li> <li>8.従業員持株会対策</li> <li>9.特別支配株主対策</li> <li>10.自社株引下げ対策</li> <li>11.法人契約の損金対策検討</li> <li>12.種類株式の検討</li> <li>13.属人的株式の検討</li> <li>14.民事信託の検証</li> <li>15.後継者への株贈与と準共有</li> <li>16.売主追加請求権の定款見直し</li> <li>17.一般社団法人の活用検討</li> <li>18.従業員退職金財源の検証</li> <li>19.公正証書遺言作成</li> <li>20.成年後見制度の検証</li> <li>21.建物所有型法人の検討</li> <li>22.国外転出時課税への対応</li> <li>23.特定同族会社事業用宅地の評価減</li> <li>24.株式譲渡承認請求への対応</li> <li>25.M&amp;Aの検討</li> <li>26.従業員退職金財源・規程の整備</li> </ol> <p>等の実施年度を計画表に明記する</p>																				
現経営者	A様																					
	B様																					
	C様																					
	D様																					
	F様																					
	関係者その他の理解																					
	役職																					
代取持株(%)																						
相続問題への対策その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.配偶者の税額軽減の特例</li> <li>2.相続税額と基礎控除</li> <li>3.生前贈与と相続時精算課税</li> <li>4.遺留分と特別受益</li> <li>5.連帯納付義務(担税力)</li> <li>6.自筆(公正)証書遺言</li> <li>7.代償分割と交付金財源</li> <li>8.法定相続人と法定相続分</li> <li>9.贈与税の配偶者控除</li> <li>10.小規模宅地等の評価減(事業用・居住用)</li> <li>11.認知症リスク</li> <li>12.教育資金と結婚・子育て資金贈与</li> <li>13.相続人以外の親族の寄与分</li> <li>14.個人の生命保険の活用度</li> <li>15.2次相続対策</li> <li>16.連帯保証人と保証債務</li> <li>17.遺留分侵害額と金銭支払い対応</li> <li>18.配偶者の居住権</li> <li>19.預貯金の分割対象と払戻し制度</li> <li>20.養子縁組・離縁</li> <li>21.非課税枠の活用度</li> </ol>																					
後継者	後継者 E様																					
	後継者教育																					
	持株(%) (※)																					
生命保険	<p>株価を算出して、暦年の贈与による株数を決定し移行</p> <p style="text-align: right;">納税猶予 </p> <p>・個人契約・法人契約の活用度合……既契約の内容点検 = 現経営者と後継者の体況確認 ⇒ 相続・事業承継に資する生命保険加入の実現</p>																					